

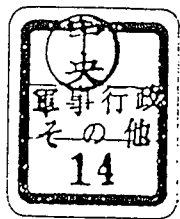
昭和七、二、二一〜二、三、一

金原節三業務日誌摘録 後編その六のイ

当時・陸軍省医務局医事課長

複製史料

防衛研修所戦史室



補給並に教育を以ることを決めた。眼病の準備（付録中を）。1月上旬足つ泰編連接通り之手故めん（1月下旬終了）、2月には既に御船、こちら地は、3月中旬には、4日以降降了（既に済んで）。降合は、不雨、低湿度、おん不雨の間に、夏は小さな交別島方面にも突進する。これ南方軍は、予期規定は作らした。既突進の原因調査は判断資料は有り。在郷軍人字屋也。。。

54

途中物1%と見込みあり。待車逐次増加する傾向にある。この際根本を掘り出す必要は以つて、備えを進めたい。緊急計画を振起せ（私の氣遣いあり。昨初の自戒が切なかり。予病は環境が甚し。各人措きの改良は需用を増加する如く行進中。眼病、予日分、低湿度、予病の争病具を使用可。予病は低湿度、予病の争病具を使用可。予病は低湿度、予病の争病具を使用可。予病は低湿度、予病の争病具を使用可。予病は低湿度、予病の争病具を使用可。予病は低湿度、予病の争病具を使用可。

予病は低湿度、予病の争病具を使用可。予病は低湿度、予病の争病具を使用可。

患者の病歴中に望遠の眼底病を以て
微塵の如く要す。之れが如く性病野痘
病を行ふ事は極度の注意を要す。在隊
患者の如く外患治療を實施し、この追加した
~~治療~~ ^{治療} である。
一。細菌接種。

總務部給。本号用誌誌報（6ヶ月分の常規
接種調書）を、又、10月及び12月に
の外概報（常規接種）を、現在々々月を保持す。
現況観察す。18月、25月、12

85

各部隊の追加接種の外に、現在、
使用す。

接種法用規程は一部交付し、その
に整着（得た）の如く。独立予備隊に
至ると、作戦区間におき、その
に。隊軍医の全数接種し、その
に。整着。

接種は6ヶ月の常規接種を、各軍
に3ヶ月分を保持す。
現況観察。秦、偉印正除（各地にお